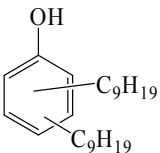
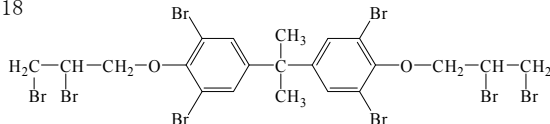
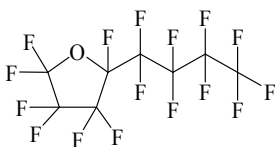
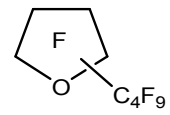


平成18年12月 既存化学物質点検（分解・蓄積）結果資料 〈第60回審査部会〉

資料2-1

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1648	ジノニルフェノール (1323-65-5) 3-0526 	BOD : 2, 1, 2 (2) HPLC: 35, 11, 46 (31) 判定結果 難分解性 (H17年9月30日) BOD : 0, 0, -1 (0) LC/MS/MS: 5, 6, 7 (6)	10.47*1	1区: 180倍 2区: 180倍 脂質含有率 開始前 3.11% 終了後 4.10%	難分解性 高濃縮性ではない	なし	1
1768	2,2-ビス [4-(2,3-ジブロモプロポキシ)-3,5-ジブロモフェニル] プロパン (21850-44-2) 4-212, 4-218 	BOD : -1, 6, -1 (1) HPLC: -2, -2, -2 (0)*2	11.52*1	1区: 3.4倍 ~ 43倍 2区: 17倍以下~130倍 脂質含有率 開始前 3.16% 終了後 2.67%	難分解性 高濃縮性ではない	なし	4
1733	ペルフルオロウンデカン酸 (2058-94-8) 2-2659 CF ₃ (CF ₂) ₉ COOH	類似物質における分解度試験の結果 及び構造式から難分解性と評価	4.0 (pH2) (HPLC法) 9.20*1	1区: 2300倍 2区: 3700倍 脂質含有率 開始前 3.10% 終了後 3.95%	難分解性 高濃縮性ではない	なし	7
1750	ペルフルオロドデカン酸 (307-55-1) 2-2658 2-2659 CF ₃ (CF ₂) ₁₀ COOH	BOD : -11, -16, -16 (0)*2 HPLC: 2, 1, 2 (2)	10.16*1	1区: 16000倍 2区: 10000倍 脂質含有率 開始前 3.63% 終了後 5.03%	難分解性 高濃縮性	なし	9
1734	ペルフルオロテトラデカン酸 (376-06-7) 2-2659 CF ₃ (CF ₂) ₁₂ COOH	BOD : -23, -22, -24 (0)*2 LC-MS: -1, 0, 0 (0)	5.0 (pH2) (HPLC法) 12.10*1	1区: 16000倍 2区: 17000倍 脂質含有率 開始前 3.06% 終了後 5.12%	難分解性 高濃縮性	なし	11
1789	ペルフルオロヘキサデカン酸 (67905-19-5) 2-2658 CF ₃ (CF ₂) ₁₄ COOH	類似物質における分解度試験の結果 及び構造式から難分解性と評価 *定常状態の濃縮倍率は5000倍に達し ていないが、濃縮倍率は上昇傾向に あり、60日後の倍率は全て5000倍を 超えている。	14.03*1	1区: 4800倍* 2区: 4700倍* 脂質含有率 開始前 3.61% 終了後 5.29%	難分解性 高濃縮性	なし	13

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1749	ペルフルオロオクタデカン酸 (67905-19-5) 2-2658 CF ₃ (CF ₂) ₁₆ COOH	類似物質における分解度試験の結果 及び構造式から難分解性と評価	15.96*1	1区： 430倍 2区： 320倍 脂質含有率 開始前 3.74% 終了後 5.46%	難分解性 高濃縮性ではない	なし	15
1429	ペルフルオロヘプタン (335-57-9) 2-2366 CF ₃ (CF ₂) ₅ CF ₃	Closed bottle法 BOD : 3, 8, (6) GC : -3, 2, (0) 判定結果 難分解性 (H18年7月21日)	6.99*1	1区： 443～1140倍 2区： 2690～8740倍 脂質含有率 開始前 4.8% 終了後 5.0%	(難分解性) 高濃縮性	なし	18
1813	ペルフルオロオクタン (307-34-6) 2-2366 CF ₃ (CF ₂) ₆ CF ₃	類似物質における分解度試験の結果 及び構造式から難分解性と評価	7.95*1	1区： 971倍 2区： 3200～13600倍 脂質含有率 開始前 4.8% 終了後 5.0%	難分解性 高濃縮性	なし	20
1646	2, 2, 3, 3, 4, 4, 5-ヘプタフルオロテトラヒドロ-5- (ノナフルオロプロ チル) フラン (335-36-4) 5-71 	Closed bottle法 BOD : -5, -4, (0)*2 GC-MS : -2, 0, (0)*2 判定結果 難分解性 (H18年7月21日)	5.90*1	1区： 747倍 2区： 3030～11600倍 脂質含有率 開始前 4.8% 終了後 5.0%	(難分解性) 高濃縮性	なし	22
1814	ヘプタフルオロテトラヒドロ (ノナフルオロプロチル) フラン (40464-54-8) 5-71 	類似物質における分解度試験の結果 及び構造式から難分解性と評価	ノナフルオロ プロチル基の置 換位置 4-:5.75*1 5-:5.90*1	1区： 554倍 2区： 2430～9510倍 脂質含有率 開始前 4.8% 終了後 5.0%	難分解性 高濃縮性	なし	24

*1 Kowwin v1.67 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値

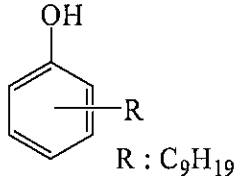
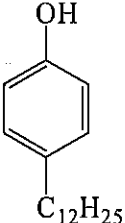
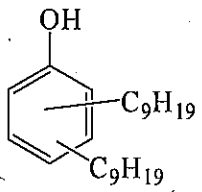
*2 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

整理番号 K-1648 (NEDO 217, 3-0526)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
ジノニルフェノール (1323-65-5)	事業対象年度 平成16年度	事業対象年度 平成17年度	契約 年 月 日
	試験期間 14.12.10~15.1.23	試験期間 17.12.21~18.2.16	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 (標)・揮	試験装置 標(・)揮
構造式(示性式)・物理化学的性状 分子式 C ₂₄ H ₄₂ O 分子量 346.59	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4週間	本試験期間 4週間	本試験期間 週間
	試験結果	試験結果	試験結果
純度*1 99%	外観 淡黄褐色粘稠液体	間接 BOD 2, 1, 2 (2)%	間接 BOD 0, 0, -1 (0)%
不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 0.007% フェノール及び不明物 0.993%	溶解度(対水, その他) 対水 5.48 µg/L (25°C) (カラム溶出法) 対メタノール 10 g/L 以上 対アセトニトリル 10 g/L 以上 対2-メトキシエタノール 10 g/L 以上	間接 HPLC 35, 11, 46 (31)%	間接 LC/MS/MS 5, 6, 7 (6)%
融点 測定不可(多成分のため)	1-オクタノール/水分分配係数 log Kow = 10.47*2	直接	直接
沸点 測定不可(多成分のため)	安定性	審査部会 第47回 17年 9月30日開催	審査部会 第60回 18年12月22日開催
密度*1 0.911 g/cm ³ (20°C)	IRチャートの有無 (有)・無	判定 難分解性	判定
LD50	用途	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 97.7% (汚泥+被験物質)系 96.5%	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 103%
生産量(年)	試験料	2.実施機関 ・株式会社 日本医学臨床検査研究所	2.実施機関 ・株式会社 JCLバイオアッセイ
経済産業公報発表年月日 年 月 日		3.特記事項 ・提供試料はHPLC分析でピーク数20~30本の多成分の混合物である。 ・HPLC分析において、不純物を分析対象としていた。	

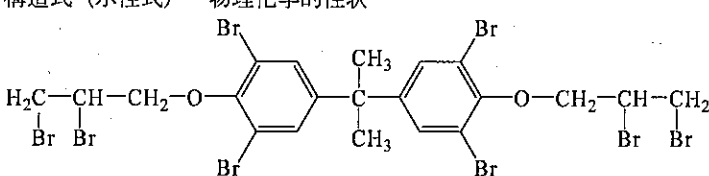
*1 提供先添付資料による。 *2 Kowwin v 1.67 による計算値。

濃縮度試験					濃縮度試験					濃縮度試験									
事業対象年度 平成17年度					試験期間 17.10.14 ~ 17.12.26					試験期間 ~					毒性試験				
試験装置 (標)・揮 LC50値 >1.50 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)					試験装置 標・揮 LC50値 mg/L(hr)魚種()					依 頼					年 月 日				
水槽設定濃度 (µg/L)					水槽設定濃度 ()					経過									
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤												
		2-メトキシ エタノール																	
第1濃度区	1	20000			第1濃度区														
第2濃度区	0.1	20000			第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 3.11% 終了後 4.10% 魚種(コイ)					濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()														
		6日後	15日後	20日後	23日後	28日後			日後	日後	日後	日後	日後	日後					
第1	水槽濃度(µg/L)	1.03	1.00	1.02	1.01	1.00	第1	水槽濃度()											
	倍率	96	150	170	190	190		倍率											
第2	水槽濃度(µg/L)	0.0966	0.0993	0.101	0.100	0.100	第2	水槽濃度()											
	倍率	93	140	150	200	170		倍率											
第3	水槽濃度()						第3	水槽濃度()											
	倍率							倍率											
審査部会 第60回 18年 12月 22日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果					判定結果														
備考 [検出器] LC-MS [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 180倍 第2濃度区 180倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 88.3% 試験水 第1濃度区 0.055 µg/L 第2濃度区 0.0055µg/L 供試魚 86.6% 供試魚 1.3 ng/g [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構					備考														

K-1648の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
ノニルフェノール (25154-52-3)		3-0503 (K-69)	標準(2W) 1975年実施 BOD 0, 0 (0) U V(277nm) -,*1 5 (5) G C -,*1 9 (9) HPLC -,*1 3 (3)	難分解性 (1975)	/	0.95 (48hr)	1975年実施 1区(0.1mg/L): 250~330 2区(0.01mg/L): 90~220 脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1976)
4-ドデシルフェ ノール異性体混合物 (27193-86-8)		3-0511 (K-1666)	標準(4W) 2002年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 11, 10, 8 (10)	難分解性 (2002)	/	0.198 (96hr)	2003年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(1 µg/L): 690 2区(0.1µg/L): 550 脂質含有率 開始前 2.95% 終了後 5.13%	高濃縮性 ではない (2004)
ジノニルフェノール (1323-65-5)		3-0022 (K-1648)	標準(4W) 2002年実施 BOD 2, 1, 2 (2) HPLC 35, 11, 46 (31) 標準(4W) 2006年実施 BOD 0, 0, -1 (0) LC/MS/MS 5, 6, 7 (6)	難分解性 (2005)	10.47*2	>1.50 (96hr)	2005年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(1 µg/L): 180 2区(0.1µg/L): 180 脂質含有率 開始前 3.11% 終了後 4.10%	

*1 棄却データ。 *2 Kowwin v 1.67 による計算値。

整理番号 K-1768 (4-0212, 4-0218)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2,2-ビス[4-(2,3-ジブロモプロポキシ)-3,5-ジブロモフェニル]プロパン (21850-44-2)	事業対象年度 平成17年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 18.3.6~18.4.24	試験期間	試験期間
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式 (示性式) ・物理化学的性状  分子式 C ₂₁ H ₂₀ Br ₈ O ₂ 分子量 943.61	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
純度 ①94.8%* ¹ (HPLCによる) ②95%* ²	試験結果 間接 BOD -1, 6, -1 (1)%	試験結果 間接	試験結果 間接
不純物* (物質名, 含有率) 残り 5.2%は不明(有機物質)* ¹ 微量成分の混合物(不明)* ²	試験結果 直接 HPLC -2, -2, -2 (0)%	試験結果 直接	試験結果 直接
融点 105.2~116.4℃	審査部会 第60回 18年12月22日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
沸点 測定不可(205℃以上で分解)	判定	判定	判定
蒸気圧	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 97.7% (汚泥+被験物質)系 95.9% 2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3.特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	備考	備考
密度			
LD ₅₀			
IRチャートの有無 (有)・無			
用途			
生産量 (年)			
試料 購入先 ①東京化成工業			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

*1 東京化成工業添付資料による。

*2 入手先添付資料による。

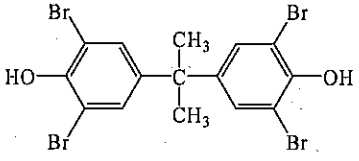
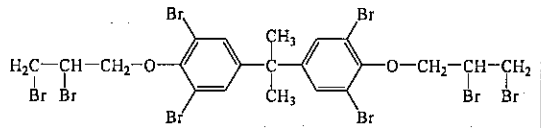
*3 Kowwin v 1.67 による計算値。

①分解度試験及び物理化学性状試験

②濃縮度試験

濃縮度試験						濃縮度試験						依 類	毒 性 試 験		
試験期間 15. 5. 26 ~ 15. 7. 22						試験期間 ~							年 月 日		
試験装置 (標)・揮			LC50 値 >500 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)			試験装置 標・揮			LC50 値 mg/L(hr)魚種()			経過			
水槽設定濃度 (μg/L)						水槽設定濃度 ()									
		被験物質		分散剤				被験物質		分散剤					
				HCO-40											
第1濃度区		15		150				第1濃度区							
第2濃度区		1.5		15				第2濃度区							
第3濃度区								第3濃度区							
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 3.16% 終了後 2.67% 魚種(コイ)						濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()									
		8日後		13日後		16日後		21日後		28日後					
第1		水槽濃度 (μg/L)		14.7		14.8		14.5		15.0				15.0	
		倍 率		5.1		36		24		3.4				43	
				11		35		8.9		33				27	
第2		水槽濃度 (μg/L)		1.48		1.49		1.50		1.49				1.47	
		倍 率		27		130		56		38				37	
				22		<17		67		89				39	
第3		水槽濃度 ()													
		倍 率													
審査部会 第 60 回 18年 12月 22日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催									
判定結果						判定結果									
備考 [ばく露期間における濃縮倍率] 第1濃度区 3.4倍 ~ 43倍 第2濃度区 17倍以下~130倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 83.8% 試験水 第1濃度区 0.59 μg/L 第2濃度区 0.059μg/L 供試魚 79.7% 供試魚 25 ng/g [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構						備考									

K-1768の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2,2-ビス(4'-ヒドロキシ-3,5'-ジブロモフェニル)プロパン (79-94-7)		4-0205 (K-130)	標準(2W) 1975年実施 BOD 0, 0 (0) G C 0, 2 (1)	難分解性 (1976)	/	8.2 (48hr)	1976年実施 1区(80µg/L) : 30~341 2区(8µg/L) : 52~485 脂質含有率 —	高濃縮性 ではない (1977)
2,2-ビス[4-(2,3-ジブロモプロポキシ)-3,5-ジブロモフェニル]プロパン (21850-44-2)		4-0212 4-0218 (K-1768)	標準(4W) 2006年実施 BOD -1, 6, -1 (1) HPLC -2, -2, -2 (0)*1		11.52*2	>500 (96hr)	ばく露期間における濃縮倍率 1区(15 µg/L) : 3.4~43 2区(1.5µg/L) : <17~130 脂質含有率 開始前 3.16% 終了後 2.67%	

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

*2 Kowwin v 1.67による計算値。

整理番号 K-1733 (NEDO 292, 2-2659, 2-1182)		分解度試験		分解度試験		分解度試験		
ペルフルオロウンデカン酸 (2058-94-8)		契約年月日		契約年月日		契約年月日		
		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		
		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮		
構造式 (示性式) ・物理化学的性状 $\text{CF}_3(\text{CF}_2)_9\text{COOH}$ 分子式 $\text{C}_{11}\text{HF}_{21}\text{O}_2$ 分子量 564.09		試験濃度		試験濃度		試験濃度		
		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		
		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		
		本試験期間 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間		
		試験結果	間接		間接		間接	
			直接		直接		直接	
		純度* 99.0%	外観 白色結晶性粉末					
不純物 (物質名, 含有率) 残り 1.0% は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 597 μg/L (25°C) (カラム溶出法) 対アセトニトリル、メタノール、2-メトキシ エタノール 10 g/L 以上	審査部会 第 60 回 18年12月22日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催				
融点 97.2~100.7°C	1-オクタノール/水分配係数 $\log \text{Pow} = 4.0 (\text{pH}2)$ (HPLC 法)	判定	判定	判定				
沸点 234.9°C		備考 ・類似物質における分解度試験の結果及び構造式から難分解性と評価	備考	備考				
密度 2.011 g/cm ³ (25°C)								
LD50	解離定数 $\text{pKa} > 4.0 (25^\circ\text{C})$							
IRチャートの有無 (有)・無								
用途								
生産量 ()								
試料 購入先 和光純薬工業								
経済産業公報発表年月日	年 月 日							

* 和光純薬工業添付資料による。

濃縮度試験						濃縮度試験						毒性試験			
事業対象年度 平成16年度												依 頼	年 月 日		
試験期間 16. 10. 1 ~ 17. 3. 18						試験期間 ~									
試験装置 (標)・揮 LC50値 >0.500 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)						試験装置 標・揮 LC50値 mg/L(hr)魚種()						部位別試験 (濃縮倍率) 第1濃度区 外皮 2600, 6100 頭部 3200, 4500 内臓 3900, 3700 可食部 860, 1300 第2濃度区 外皮 3400, 1700 頭部 4100, 2300 内臓 6000, 3000 可食部 1000, 620 排泄試験 (半減期) 第1濃度区 45日 第2濃度区 22日			
水槽設定濃度 (μg/L)						水槽設定濃度 ()									
		被験物質		分散剤				被験物質		分散剤					
		HCO-40		2-メトキシ エタノール											
第1濃度区		1		20000		第1濃度区									
第2濃度区		0.1		20000		第2濃度区									
第3濃度区						第3濃度区									
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 3.10% 終了後 3.95% 魚種(コイ)						濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()						経過			
		13日後		27日後		41日後		49日後		60日後					
第1		水槽濃度 (μg/L)		0.915		0.961		0.953		0.981				0.908	
		倍 率		1400		1700		3500		1900				1600	
				2600		2600		1400		2200				3000	
第2		水槽濃度 (μg/L)		0.0943		0.0895		0.0927		0.0894				0.0861	
		倍 率		1300		1600		1700		4000				3500	
				2800		3500		5300		4500				3100	
第3		水槽濃度 ()													
		倍 率													
審査部会 第60回 18年 12月 22日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催									
判定結果						判定結果									
備考						備考									
[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 2300倍 第2濃度区 3700倍															
[回収率] [定量下限濃度]															
試験水 82.1% 試験水 第1濃度区 0.033 μg/L 第2濃度区 0.0033μg/L															
供試魚 90.6% 供試魚 30 ng/g															
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構															

整理番号 K-1750 (NEDO 315, 2-2658, 2-2659)		分解度試験		分解度試験		分解度試験		
ペルフルオロドデカン酸 (307-55-1)		事業対象年度 18年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日		
		試験期間 18. 6.28~18. 8.17		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 $CF_3(CF_2)_{10}COOH$ 分子式 $C_{12}H_{23}O_2$ 分子量 614.10		試験濃度		試験濃度		試験濃度		
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間		
		試験結果	間接	BOD -11, -16, -16 (0)%	試験結果	間接		試験結果
直接	HPLC 2, 1, 2 (2)%		直接			直接		
純度*1 98.5%	外観 白色粉末	審査部会 第60回 18年12月22日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 1.5%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 530µg/L(25°C) (カラム溶出法) 対メタノール, アセトニトリル, 2-メトキシ エタノール 10.0 g/L以上	判定		判定		判定		
融点*2 112~114°C	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 10.16*4	備考		備考		備考		
沸点*3 249°C		1. 回収率 (水+被験物質)系 95.5% (汚泥+被験物質)系 97.7%						
密度 2.048 g/cm³(20°C)	安定性	2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構						
LD50		3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。						
IRチャートの有無 (有) ・ 無								
用途								
生産量 (年)								
試料 購入先 ワコーケミカル								
経済産業公報発表年月日	年 月 日							

*1 ワコーケミカル添付資料による。

*2 Huang, Bing Nan; Journal of fluorine Chemistry 1987 V36 (1) P49-62による。

*3 "Physprop" data were obtained from Syracuse Research Corporation of Syracuse, New York (US)による。

*4 Kowwin v 1.67による計算値。

濃縮度試験						濃縮度試験						毒性試験			
事業対象年度 平成17年度												依 頼	年月日		
試験期間 17. 11. 14 ~ 18. 4. 3						試験期間 ~							部 位 別 試 験 （ 濃 縮 倍 率 ） 第1濃度区 外皮 42000, 12000 頭部 44000, 12000 内臓 62000, 16000 可食部 13000, 3200 第2濃度区 外皮 13000, 10000 頭部 14000, 12000 内臓 17000, 13000 可食部 4300, 3700 排 泄 試 験 （ 半 減 期 ） 第1濃度区 32日 第2濃度区 51日	經 過	
試験装置 (標)・揮			LC50値 >0.500mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)			試験装置 標・揮			LC50値 mg/L(hr)魚種()						
水槽設定濃度 (μg/L)						水槽設定濃度 ()									
	被験物質	分散剤					被験物質	分散剤							
		HCO-40	2-メトキシ エタノール												
第1濃度区	1	1	20000			第1濃度区									
第2濃度区	0.1	0.1	20000			第2濃度区									
第3濃度区						第3濃度区									
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 3.63% 終了後 5.03% 魚種(コイ)						濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()									
14日後 28日後 42日後 50日後 60日後						日後 日後 日後 日後 日後									
第1	水槽濃度 (μg/L)	0.925	0.983	0.960	0.992	1.01	第1	水槽濃度 ()							
	倍率	2800	23000	16000	18000	16000		倍率							
第2	水槽濃度 (μg/L)	0.0931	0.106	0.0971	0.0978	0.0960	第2	水槽濃度 ()							
	倍率	6600	24000	9600	6600	10000		倍率							
第3	水槽濃度 ()						第3	水槽濃度 ()							
	倍率							倍率							
審査部会 第60回 18年 12月 22日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催									
判定結果						判定結果									
備考						備考									
[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 16000倍 第2濃度区 10000倍															
[回収率] [定量下限濃度]															
試験水 84.0% 試験水 第1濃度区 0.058 μg/L 第2濃度区 0.0058μg/L															
供試魚 78.8% 供試魚 29ng/g															
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構															

整理番号 K-1734 (NEDO 293, 2-2658)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
ペルフルオロテトラデカン酸 (376-06-7)		事業対象年度 平成17年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
		試験期間 17. 8. 3~17. 9. 22		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 $\text{CF}_3(\text{CF}_2)_{12}\text{COOH}$ 分子式 $\text{C}_{14}\text{H}_{27}\text{O}_2$ 分子量 714.11		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
		試験結果		試験結果		試験結果	
純度*1 97.3%		外観 白色結晶性粉末		間接		間接	
不純物*1 (物質名, 含有率) 不明成分 2.7%		溶解度 (対水, その他) 対水(カラム溶出法) 296µg/L (25°C) 対アセトン 1 g/L 以上 対メタノール 0.5 g/L 以上 対2-メトキシエタノール 2 g/L 以上 対アセトニトリル 1 g/L 以上 対酢酸エチル/2-プロパノール(7/3 V/V) 0.5 g/L 以上		審査部会 第 60 回 18年12月22日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
融点*2 130.4°C		1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 5.1 (pH2) (HPLC 法)		判定		判定	
沸点*2 270°C/740mmHg				備考		備考	
密度 2.030 g/cm³ (25°C)		解離定数 pKa > 4.0 (25°C)		1. 回収率 (水 + 被験物質) 系 97.4% (汚泥 + 被験物質) 系 96.8%		備考	
LD50							
IRチャートの有無 (有) ・ 無		2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構		3. 特記事項 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。		備考	
用途							
生産量*3 (年)							
試料 購入先 ワコーケミカル							
経済産業公報発表年月日		年 月 日					

*1 ワコーケミカル添付資料による。

*2 Beilstein Handbook of Organic Chemistry による。

*3 官報番号として。

濃縮度試験						濃縮度試験						毒性試験				
事業対象年度 平成16年度												年月日				
試験期間 16. 9. 30 ~ 17. 3. 18						試験期間 ~						依 頼				
試験装置 (標)・揮 LC50値 >0.290 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)						試験装置 標・揮 LC50値 mg/L(hr)魚種()										
水槽設定濃度 (μg/L)						水槽設定濃度 ()						部位別試験 (濃縮倍率) 第1濃度区 外皮 18000, 17000 頭部 31000, 31000 内臓 46000, 41000 可食部 4600, 4700 第2濃度区 外皮 21000, 42000 頭部 19000, 33000 内臓 27000, 45000 可食部 5300, 9700 排泄試験 (半減期) 第1濃度区 9.6 日 第2濃度区 11 日				
被験物質		分散剤				被験物質		分散剤								
		HCO-40	2-メトキシ エタノール													
第1濃度区	1	1	20000			第1濃度区										経過
第2濃度区	0.1	0.1	20000			第2濃度区										
第3濃度区						第3濃度区										
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 3.06% 終了後 5.12% 魚種(コイ)						濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()										
		14日後	28日後	42日後	53日後	60日後			日後	日後	日後	日後	日後			
第1	水槽濃度 (μg/L)	0.849	0.813	0.902	0.969	0.969	第1	水槽濃度 ()								
	倍率	8200	15000	17000	17000	16000		倍率								
第2	水槽濃度 (μg/L)	0.0833	0.0812	0.0931	0.0983	0.0985	第2	水槽濃度 ()								
	倍率	9300	20000	18000	15000	16000		倍率								
第3	水槽濃度 ()						第3	水槽濃度 ()								
	倍率							倍率								
審査部会 第60回 18年 12月 22日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催										
判定結果						判定結果										
備考						備考										
[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 16000倍 第2濃度区 17000倍																
[回収率] 試験水 85.6%						[定量下限濃度] 試験水 第1濃度区 0.060 μg/L 第2濃度区 0.0060 μg/L										
供試魚 89.1%						供試魚 120 ng/g										
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																

整理番号 K-1789 (NEDO 342, 2-2658)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
ペルフルオロヘキサデカン酸 (67905-19-5)	事業対象年度 平成 年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式 (示性式) ・物理化学的性状 $CF_3(CF_2)_{14}COOH$ 分子式 $C_{16}H_{31}O_2$ 分子量 814.13	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接	試験結果 直接	試験結果 直接
純度*1 100.67%	外観 白色粉末		
不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 0.34%	溶解度 (対水, その他) 対水 150µg/L (25°C) (カラム溶出法)	審査部会 第 60 回 18年12月22日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点 150.8~153.5°C		判定	判定
沸点*2 294°C	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 14.03*3	備考 ・類似物質における分解度試験の結果及び構造式から難分解性と評価	備考
密度 1.984 g/cm³			
LD50	安定性		
IRチャートの有無 (有)・無			
用途			
生産量 (年)			
試料 購入先 Lancaster Synthesis Ltd.			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 Lancaster Synthesis Ltd. 添付資料による。

*2 Minnesota Mining & Mfg. Co. US 2592069 1951 による。

*3 Kowwin v 1.67 による計算値。

濃縮度試験						濃縮度試験						毒性試験	
事業対象年度 平成17年度												依 頼	年 月 日
試験期間 18. 4. 7 ~						試験期間 ~							経過
試験装置 (標)・揮 LC50値 >0.150 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)						試験装置 標・揮 LC50値 mg/L(hr)魚種()							
水槽設定濃度 (μg/L)						水槽設定濃度 ()							
	被験物質	分散剤					被験物質	分散剤					
		HCO-40	N,N-ジメチルホルムアミド										
第1濃度区	1	1	19000			第1濃度区							
第2濃度区	0.1	0.1	19000			第2濃度区							
第3濃度区						第3濃度区							
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 3.61% 終了後 5.29% 魚種(コイ)						濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()							
		14日後	28日後	42日後	53日後	60日後		日後	日後	日後	日後	日後	
第1	水槽濃度 (μg/L)	1.02	0.987	0.983	0.993	0.977	第1	水槽濃度 ()					
	倍率	2000	3600	4500	4300	5500		倍率					
第2	水槽濃度 (μg/L)	0.101	0.100	0.0977	0.0984	0.0995	第2	水槽濃度 ()					
	倍率	2000	3300	4200	4200	5200		倍率					
第3	水槽濃度 ()						第3	水槽濃度 ()					
	倍率							倍率					
審査部会 第60回 18年 12月 22日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催							
判定結果						判定結果							
備考						備考							
[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 4800倍 第2濃度区 4700倍													
[回収率] 試験水 94.9%						[定量下限濃度] 試験水 第1濃度区 0.079 μg/L 第2濃度区 0.0079μg/L							
供試魚 92.8%						供試魚 37ng/g							
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構													

部位別試験 (濃縮倍率)

第1濃度区
 外皮 5000, 6100
 頭部 4400, 4700
 内臓 5200, 5300
 可食部 1600, 1800

第2濃度区
 外皮 5100, 4300
 頭部 4500, 5200
 内臓 12000, 8400
 可食部 2200, 2500

排泄試験 (半減期)

第1濃度区 36日
 第2濃度区 34日

*定常状態の濃縮倍率は5000倍に達していないが、濃縮倍率は上昇傾向にあり、60日後の倍率は全て5000倍を超えている。

整理番号 K-1749 (2-2658)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
ペルフルオロオクタデカン酸 (16517-11-6)		事業対象年度		契約年月日		契約年月日	
		試験期間		試験期間		試験期間	
		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮	
構造式 (示性式) ・物理化学的性状 $\text{CF}_3(\text{CF}_2)_{16}\text{COOH}$ 分子式 $\text{C}_{19}\text{HF}_{35}\text{O}_2$ 分子量 914.14		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
		試験結果		試験結果		試験結果	
純度*1 98.7%		外観 白色粉末		間接		間接	
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 1.3% は不明		溶解度 (対水, その他) 対水 47µg/L (25°C) (カラム溶出法)		直接		直接	
融点		審査部会 第60回 18年12月22日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
沸点		判定		判定		判定	
密度		備考		備考		備考	
LD50		・類似物質における分解度試験の結果及び構造式から難分解性と評価					
IRチャートの有無 (有) ・ 無							
用途							
生産量 (年)							
試料 購入先 和光純薬工業							
経済産業公報発表年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 Kowwin v 1.67 による計算値。

濃縮度試験				事業対象年度				平成17年度				濃縮度試験				濃縮度試験				毒性試験			
試験期間		17. 9. 1 ~ 17. 3. 29		試験期間		~		試験装置		標・揮 LC50値 >40.0µg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)		試験装置		標・揮 LC50値 mg/L(hr)魚種()		排泄試験(半減期)		年月日					
水槽設定濃度 (µg/L)				水槽設定濃度 ()				第1濃度区		12日		第2濃度区		13日		依		類					
濃縮度	被験物質	分散剤				濃縮度	被験物質	分散剤				濃縮度	被験物質	分散剤				経過					
		HCO-40	N,N-ジメチルホルムアミド																				
第1濃度区	1	1	20000			第1濃度区						第1濃度区											
第2濃度区	0.1	0.1	20000			第2濃度区						第2濃度区											
第3濃度区						第3濃度区						第3濃度区											
濃縮倍率				脂質含有率				開始前 3.74%				濃縮倍率				脂質含有率				開始前 %			
				終了後 5.46%				魚種(コイ)								終了後 %				魚種()			
		7日後		19日後		33日後		46日後		60日後				日後		日後		日後		日後		日後	
第1	水槽濃度 (µg/L)	0.971	0.958	1.00	0.974	0.943	第1	水槽濃度 ()															
	倍率	400	330	450	360	520		第1	倍率														
		380	320	480	400	390																	
第2	水槽濃度 (µg/L)	0.0978	0.0963	0.103	0.0988	0.0938	第2	水槽濃度 ()															
	倍率	240	150	250	310	330		第2	倍率														
		260	460	340	270	380																	
第3	水槽濃度 ()						第3	水槽濃度 ()															
	倍率							第3	倍率														
審査部会 第60回 18年 12月 22日 開催				審査部会 第 回 年 月 日 開催																			
判定結果				判定結果																			
備考				備考																			
[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 430倍 第2濃度区 320倍																							
[回収率] 試験水 84.8%				[定量下限濃度] 試験水 第1濃度区 0.029 µg/L 第2濃度区 0.0029µg/L																			
供試魚 91.5%				供試魚 6.1ng/g																			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																							

K-1733、K-1734、K-1749、K-1750、K-1789の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	分子量	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
ペルフルオロオクタン スルホン酸カリウム (2795-39-3)	CF ₃ (CF ₂) ₇ SO ₃ K	538.22	2-2810 (K-1520)	標準(4W) 2000年実施 BOD 0, 0, 1 (0) TOC 8, 4, 4 (6) LC-MS 8, 0, 0 (3)	難分解性 (2000)	4.13* ¹	89.1 (96hr)	2001年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(20µg/L): 720 ばく露期間における濃縮倍率 2区(2µg/L): 200~1500 脂質含有率 開始前 3.87% 終了後 3.08%	高濃縮性 ではない (2001)
ペルフルオロオクタン 酸 (335-67-1)	CF ₃ (CF ₂) ₆ COOH	414.07	2-2659 (K-1519)	標準(4W) 2000年実施 BOD 10, 0, 4 (5) TOC 2, 4, 2 (3) HPLC 0, 0, 0 (0)	難分解性 (2000)	6.30* ¹	100 (96hr)	2000年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(50µg/L): 3.1 ばく露期間における濃縮倍率 2区(5µg/L): <5.1~9.4 脂質含有率 開始前 3.10% 終了後 2.82%	高濃縮性 ではない (2001)
ペルフルオロウン デカン酸 (2058-94-8)	CF ₃ (CF ₂) ₉ COOH	564.09	2-1182 2-2659 (K-1733)	類似物質における分解度試験 の結果及び構造式から評価		4.0(pH2) (HPLC法)	>0.500 (96hr)	2004年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(1µg/L): 2300 2区(0.1µg/L): 3700 脂質含有率 開始前 3.10% 終了後 3.95%	
ペルフルオロドデカン 酸 (307-55-1)	CF ₃ (CF ₂) ₁₀ COOH	614.10	2-2658 2-2659 (K-1750)	標準(4W) 2006年実施 BOD -11, -16, -16 (0)* ² HPLC 2, 1, 2 (2)		10.16* ¹	>0.500 (96hr)	2005年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(1µg/L): 16000 2区(0.1µg/L): 10000 脂質含有率 開始前 3.63% 終了後 5.03%	
ペルフルオロテトラデ カン酸 (376-06-7)	CF ₃ (CF ₂) ₁₂ COOH	714.11	2-2658 (K-1734)	標準(4W) 2005年実施 BOD -23, -22, -24 (0)* ² LC-MS -1, 0, 0 (0)* ²		5.1(pH2) (HPLC法)	>0.290 (96hr)	2004年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(1µg/L): 16000 2区(0.1µg/L): 17000 脂質含有率 開始前 3.06% 終了後 5.12%	
ペルフルオロヘキサデ カン酸 (67905-19-5)	CF ₃ (CF ₂) ₁₄ COOH	814.13	2-2658 (K-1789)	類似物質における分解度試験 の結果及び構造式から評価		14.03* ¹	>0.150 (96hr)	2006年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(1µg/L): 4800 2区(0.1µg/L): 4700 脂質含有率 開始前 3.61% 終了後 5.29%	
ペルフルオロオクタデ カン酸 (16517-11-6)	CF ₃ (CF ₂) ₁₆ COOH	914.14	2-2658 (K-1749)	類似物質における分解度試験 の結果及び構造式から評価		15.96* ¹	>0.04 (96hr)	2005年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(1µg/L): 430 2区(0.1µg/L): 320 脂質含有率 開始前 3.74% 終了後 5.46%	

*1 Kowwin v 1.67 による計算値。

*2 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

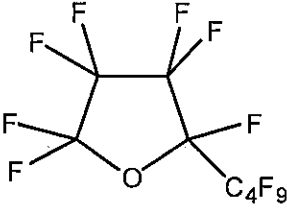
整理番号 K-1429 (NEDO 332, 2-2366)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
ペルフルオロヘプタン (335-57-9)	事業対象年度 平成17年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 18. 1.16~18. 3.20	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 Closed bottle	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式 (示性式) ・物理化学的性状 $CF_3(CF_2)_5CF_3$ 分子式 C_7F_{16} 分子量 388.05	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	有機物質 10.5 mg/L 都市下水処理場二次放流水 1滴/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	間接 BOD 3, 8 (6)%	間接	間接
	直接 GC -3, 2 (0)%	直接	直接
純度*1 ①91.4% (異性体を含む) ②11.8% (異性体を含む)	外観 無色透明液体		
不純物*1 (物質名, 含有率) ①テトラフルオロヘキサン(2-2366) 3.1% 不明成分(有機物質) 5.5% ②濃縮度試験備考欄参照	溶解度 (対水, その他) 対水*4 0.000012 g/L (25℃) 対クロロホルム 10 g/L 以上	審査部会 第56回 18年 7月21日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 -78℃		判定 難分解性	判定
沸点*2 82.5℃	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 6.99*5	備考 1. 回収率 (水 + 被験物質) 系 71.1% (植種源 + 被験物質) 系 70.4% 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	備考
比重*3 d_{20}^{20} 1.7496			
LD50	安定性		
IRチャートの有無 (有)・無			
用途			
生産量 (年)			
試料 購入先 ①東京化成工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 GC及びGC-MSによる *2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。 *3 東京化成工業添付資料による。
*4 Beilstein Handbook of Organic Chemistryによる。 *5 Kowwin v 1.67による計算値。①分解度試験及び物理化学性状試験 ②濃縮度試験

濃縮度試験						濃縮度試験						毒性試験					
試験期間 18. 1. 25 ~ 18. 8. 1						試験期間 ~						依 頼	年 月 日				
試験装置 (標)・揮		LC50 値 >20 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)				試験装置 標・揮		LC50 値 mg/L(hr)魚種()					部位別試験 (濃縮倍率) 第1濃度区 外皮 465 頭部 871 内臓 794 可食部 480 第2濃度区 外皮 3970 頭部 5350 内臓 10800 可食部 2830 排泄試験 (半減期) 第1濃度区 5.6日 第2濃度区 3.4日 試験物質の主要成分組成 ・ペルフルオロヘプタン 9.24% ・ペルフルオロ(2-フルオロテトラヒドロフラン) 45.52% ・ペルフルオロオクタン 5.75% ・ヘフタフルオロテトラヒドロ(ナフタロフ)チル)フラン 8.76% ・ペルフルオロヘプタン異性体 2.56%				
水槽設定濃度 (µg/L)						水槽設定濃度 ()											
被験物質		分散剤				被験物質		分散剤									
		HCO-40	テトラヒドロフラン														
第1濃度区	200	4000	16(µL/L)			第1濃度区						経過					
第2濃度区	20	400	20(µL/L)			第2濃度区											
第3濃度区						第3濃度区											
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 4.8% 終了後 5.0% 魚種(コイ)						濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()											
		7日後	14日後	28日後	42日後	60日後			日後	日後	日後				日後	日後	
第1	水槽濃度 (µg/L)	157	167	170	169	166	第1	水槽濃度 ()									
	倍率	443	609	1140	578	674		倍率									
第2	水槽濃度 (µg/L)	15.3	16.7	17.2	16.7	16.8	第2	水槽濃度 ()									
	倍率	2690	4530	6630	5160	8740		倍率									
第3	水槽濃度 ()						第3	水槽濃度 ()									
	倍率							倍率									
審査部会 第60回 18年 12月 22日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催											
判定結果						判定結果											
備考						備考											
[ばく露期間における濃縮倍率] 第1濃度区 443~1140倍 [ばく露期間における濃縮倍率] 第2濃度区 2690~8740倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 実施せず 試験水 1 µg/L 供試魚 49.4% 供試魚 990 ng/g [実施機関] 株式会社三菱化学安全科学研究所																	

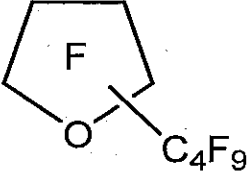
整理番号 K-1813 (2-2366)		分解度試験		分解度試験		分解度試験		
ペルフルオロオクタン (307-34-6)		契約 年 月 日		契約 年 月 日		契約 年 月 日		
		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		
		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮		
構造式 (示性式)・物理化学的性状 $\text{CF}_3(\text{CF}_2)_6\text{CF}_3$ 分子式 C_8F_{18} 分子量 438.06		試験濃度		試験濃度		試験濃度		
		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		
		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		
		本試験期間 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間		
		試験結果	間接		間接		間接	
			直接		直接		直接	
純度* 5.75%	外観 無色透明液体	審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		
不純物 (物質名, 含有率) 濃縮度試験備考欄参照	溶解度 (対水, その他) 対水溶解度: 不溶 <5ppm	判定		判定		判定		
融点 -	1-オクタノール/水分配係数	備考		備考		備考		
沸点 80~112℃		・K-1429 における分解度試験の結果及び構造式から難分解性と評価						
密度								
LD50								
IRチャートの有無 有・ <input checked="" type="radio"/> 無								
用途								
生産量 ()								
試料 購入先								
経済産業公報発表年月日	年 月 日							

濃縮度試験						濃縮度試験						部位別試験(濃縮倍率)		毒性試験			
試験期間 18. 1. 25 ~ 18. 8. 1						試験期間 ~						第1濃度区 外皮 623 頭部 1180 内臓 994 可食部 661		年月日			
試験装置 (標)・揮 LC50値 >20 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)						試験装置 標・揮 LC50値 mg/L(hr)魚種()											
水槽設定濃度 (µg/L)						水槽設定濃度 ()						第2濃度区 外皮 6250 頭部 9080 内臓 18300 可食部 4270		経過			
被験物質		分散剤				被験物質		分散剤									
		HCO-40	テトラヒドロフラン														
第1濃度区		200	4000	16(µL/L)		第1濃度区						排泄試験(半減期) 第1濃度区 12日 第2濃度区 5.0日					
第2濃度区		20	400	20(µL/L)		第2濃度区											
第3濃度区						第3濃度区											
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 4.8% 終了後 5.0% 魚種(コイ)						濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()											
		7日後	14日後	28日後	42日後	60日後			日後	日後	日後	日後	日後				
第1	水槽濃度(µg/L)	168	172	168	174	176	第1	水槽濃度()						試験物質の主要成分組成			
	倍率	424	682	1130	765	967		倍率									
		544	682	876	974	1120											
第2	水槽濃度(µg/L)	15.9	16.0	15.9	16.8	17.5	第2	水槽濃度()						・ペルフルオロオクタン 5.75%			
	倍率	3200	6370	9090	7770	13600		倍率									
		4650	4420	4640	4670	10900											
第3	水槽濃度()						第3	水槽濃度()						・ペルフルオロヘプタン異性体 2.56%			
	倍率							倍率									
審査部会 第60回 18年 12月 22日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催											
判定結果						判定結果											
備考						備考											
[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 917倍																	
[ばく露期間における濃縮倍率] 第2濃度区 3200~13600倍																	
[回収率] [定量下限濃度]																	
試験水 実施せず 試験水 1 µg/L																	
供試魚 67.2% 供試魚 990 ng/g																	
[実施機関] 株式会社三菱化学安全科学研究所																	

整理番号 K-1646 (NEDO 215, 5-0071)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
ペルフルオロ(ブチルテトラヒドロフラン)	事業対象年度 平成17年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
[別名: ペルフルオロ(2-ブチルテトラヒドロフラン)] (335-36-4)	試験期間 18. 1.23~18. 4.10	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 Closed bottle	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₈ F ₁₆ O 分子量 416.06	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	有機物質 9.74mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	都市下水処理場二次放流水 1滴/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD -5, -4 (0)% 直接 GC-MS -2, 1 (0)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 ①49.7% ②45.52%	外観 無色透明液体		
不純物*1 (物質名, 含有率) ①ペルフルオロオクタノール(2-2366)14.9%、その他複数の不明成分(有機物質)35.4% ②濃縮度試験備考欄参照	溶解度(対水, その他) 対水 対クロロホルム 1g/L以上	審査部会 第56回 18年 7月21日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 -88.0°C		判定 難分解性	判定
沸点*2 99~107.0°C	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 5.90*3	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 96.4% (汚泥+被験物質)系 96.6% 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	備考
密度*2 1.77 g/cm ³			
LD50	安定性		
IRチャートの有無 (有)・無			
用途*4 中間物、冷媒、その他			
生産量*4 (13年) 製造及び輸入 100~1,000 t未滿			
試料 購入先 ①Strem Chemicals, Inc.			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 GCによる。 *2 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheets (Version 1.2)による。 *3 Kowwin v 1.67による計算値。
*4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。①分解度試験及び物理化学性状試験 ②濃縮度試験

濃縮度試験						濃縮度試験						毒性試験		
試験期間 18. 1. 25 ~ 18. 8. 1						試験期間 ~						依 頼	年月日	
試験装置 (標)・揮		LC50 値 >20 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)				試験装置 標・揮		LC50 値 mg/L(hr)魚種()					部位別試験(濃縮倍率) 第1濃度区 外皮 474 頭部 920 内臓 789 可食部 513 第2濃度区 外皮 5350 頭部 7750 内臓 15000 可食部 3570 排泄試験(半減期) 第1濃度区 11日 第2濃度区 5.1日 試験物質の主要成分組成 ・ペルフルオロヘプタン 9.24% ・ペルフルオロ(2-ブチルテトラヒドロフラン) 45.52% ・ペルフルオロオクタン 5.75% ・ヘプタフルオロテトラヒドロ(ノナフルオロブチル)フラン 8.76% ・ペルフルオロヘプタン異性体 2.56%	
水槽設定濃度 (µg/L)						水槽設定濃度 ()								
	被験物質	分散剤					被験物質	分散剤						
		HCO-40	テトラヒドロフラン											
第1濃度区	200	4000	16(µL/L)			第1濃度区								
第2濃度区	20	400	20(µL/L)			第2濃度区								
第3濃度区						第3濃度区								
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 4.8% 終了後 5.0% 魚種(コイ)						濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()								
		7日後	14日後	28日後	42日後	60日後		日後	日後	日後	日後	日後		
第1	水槽濃度(µg/L)	160	165	163	169	171	第1	水槽濃度()						
	倍率	348	559	979	633	707		倍率						
第2	水槽濃度(µg/L)	16.1	16.5	16.4	17.1	17.7	第2	水槽濃度()						
	倍率	3030	5900	8410	7120	11600		倍率						
第3	水槽濃度()						第3	水槽濃度()						
	倍率							倍率						
審査部会 第60回 18年 12月 22日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催								
判定結果						判定結果								
備考						備考								
[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 747倍 [ばく露期間における濃縮倍率] 第2濃度区 3030~11600倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 実施せず 試験水 2 µg/L 供試魚 65.0% 供試魚 990 ng/g [実施機関] 株式会社三菱化学安全科学研究所														

整理番号 K-1814 (5-71)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
ヘプタフルオロテトラヒドロ(ノナフルオロブチル)フラン		契約年月日		契約年月日		契約年月日	
(40464-54-8)		試験期間		試験期間		試験期間	
		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮	
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₈ F ₁₆ O 分子量 416.06		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
		試験結果	間接		間接		間接
直接			直接		直接		
純度* 8.76%	外観 無色透明液体	審査部会 第 回 年月日開催		審査部会 第 回 年月日開催		審査部会 第 回 年月日開催	
不純物(物質名,含有率) 濃縮度試験備考欄参照	溶解度(対水,その他) 対水溶解度:不溶 <5ppm	判定		判定		判定	
融点 -	1-オクタノール/水分配係数	備考		備考		備考	
沸点 80~112℃		・K-1646 における分解度試験の結果及び構造式から難分解性と評価					
密度							
LD ₅₀							
IRチャートの有無 有・ <input checked="" type="radio"/>	解離定数						
用途							
生産量 ()							
試料 購入先							
経済産業公報発表年月日		年月日		年月日		年月日	

*

濃縮度試験						濃縮度試験						毒性試験		
試験期間 18. 1. 25 ~ 18. 8. 1						試験期間 ~						依 頼	年 月 日	
試験装置 (標)・揮 LC50値 >20 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)						試験装置 標・揮 LC50値 mg/L(hr)魚種()							経過	
水槽設定濃度 (μg/L)						水槽設定濃度 ()								
	被験物質	分散剤					被験物質	分散剤						
		HCO-40	テトラヒドロフラン											
第1濃度区	200	4000	16(μL/L)			第1濃度区								
第2濃度区	20	400	20(μL/L)			第2濃度区								
第3濃度区						第3濃度区								
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 4.8% 終了後 5.0% 魚種(コイ)						濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()						部位別試験(濃縮倍率)		
7日後 14日後 28日後 42日後 60日後						日後 日後 日後 日後 日後						第1濃度区 370 第1濃度区 685 第1濃度区 586 第1濃度区 402 第2濃度区 4640 第2濃度区 6570 第2濃度区 13300 第2濃度区 3300		
第1	水槽濃度(μg/L)	149	159	161	164	163	第1	水槽濃度()					試験物質の主要成分組成 ・ヘルフルオロヘプタン 9.24% ・ヘルフルオロ(2-ブチルテトラヒドロフラン) 45.52% ・ヘルフルオロオクタン 5.75% ・ヘプタフルオロテトラヒドロ(ノナフルオロ)チルフラン 8.76% ・ヘルフルオロヘプタン異性体 2.56%	
	倍率	251	401	687	438	547		倍率						
第2	水槽濃度(μg/L)	15.8	15.9	16.7	16.7	17.2	第2	水槽濃度()						
	倍率	2430	4780	6860	5590	9510		倍率						
第3	水槽濃度()						第3	水槽濃度()						
	倍率							倍率						
審査部会 第60回 18年 12月 22日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催								
判定結果						判定結果								
備考 [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 554倍 [ばく露期間における濃縮倍率] 第2濃度区、2430~9510倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 実施せず 試験水 1 μg/L 供試魚 62.7% 供試魚 990 ng/g [実施機関] 株式会社三菱化学安全科学研究所						備考								